

— 演奏者紹介 —

ヴォルフガング・ダヴィッド (ソリスト／ヴァイオリン) Wolfgang David, Violin

1971 年、ウィーン近郊ザンクト・ペルテン生まれ。8 歳でウィーン国立音楽大学へ入学し、ウィーン・フィルコンサートマスターの R. キュッヒル氏に師事。ケルン音楽大学で I. オジム氏に、ロンドンのギルドホール音楽院で I. ニーマン氏に学ぶ。多くのコンクールで入賞。ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン放送交響楽団、ヨハネスブルク・フィルハーモニー管弦楽団、ベルン交響楽団、などのオーケストラと共演。ウィーン・コンツェルトハウス、ムジークフェラインザール、カーネギー・ホール、ウィグモア・ホールなど世界の著名なホールで演奏。特筆すべきは NY 国連アッセンブリー・ホールでのコフィー・アナン国連事務総長臨席のもとでの演奏、バンコクでのタイ女王臨席での演奏である。ワシントン・ポスト紙は、「最高度の音楽が降り注ぐ」と評し、「ストラド」誌は、彼の演奏の「情感の豊かさは人が望み得る最上のもの」と絶賛している。使用楽器：Carlo Bergonzi 1724 年（オーストリア国立銀行貸与）

梯 剛之 (ソリスト／ピアノ) Takeshi Kakehashi, Piano

1977 年生まれ。小児癌により生後 1 ヶ月で失明、4 才半よりピアノを始める。小学校卒業と同時にウイーン国立音大準備科入学。盲人弱者国際音楽コンクール（チェコ）、エトリンゲン青少年国際ピアノコンクール（独）最年少優勝、ロン＝ティボー国際コンクール（仏）第 2 位他。都民文化栄誉章、出光音楽賞、点字毎日文化賞。ショパン国際コンクールワルシャワ市長賞受賞。フランス国立管、N 響など国内外のオーケストラ、小澤征爾、フルネ他多くの指揮者と共演。TV 朝日「徹子の部屋」、NHK「芸術劇場」「N 響アワー」、「徹子の部屋クラシック」等出演。佐々木弥栄子、高岡慶子、阿部美果子、E.D＝ヴァイスハール各氏に師事。CD「リサイタル 2013」、「ダヴィッド&梯 デュオ・リサイタル 2015」は「レコード芸術」誌特選盤。「リサイタル 2014」「リサイタル 2016」、「ダヴィッド&梯 デュオ・リサイタル Vol. 3」は準特選盤。

白井 篤 (コンサートマスター／ヴァイオリン) Atsushi Shirai, Violin

国立音楽大学付属音楽高校を経て、桐朋学園大学卒業。1999 年、NHK 交響楽団に入団。2003 年、アフィニス文化財団海外研修員としてウィーンへ留学、アレクサンダー・アレンコフ氏に師事。2004 年、ウィーンにて初リサイタル開催。帰国後は N 響での演奏を中心にしつつ、ソロや室内楽でも積極的に活動している。横浜市イギリス館にてトーク付きのサロン・コンサートシリーズ「旅するヴァイオリン」を毎月開催。横浜市開港記念館と横浜みなとみらいホールを拠点に活動する NPO 法人「ハマの JACK」では、演奏会を年 4 公演のほか、子供たちを対象としたワークショップも開催している。N 響メンバーによる弦楽四重奏団「クアルテット・リゾナンツァ」では、銀座ヤマハホールにおいてベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏シリーズを開催し、好評を得る。2006 年からは浜離宮朝日ホールにおいて毎年リサイタルを開催、好評を博している。ヴァイオリンを名取美保、守岡輝、日高毅、篠崎功子、アレクサンダー・アレンコフの各氏に師事。現在、クアルテット・リゾナンツァ 1st violin、室内オーケストラ「ARCUS」メンバー、NPO 法人「ハマの JACK」副理事。国立音楽大学付属中学・高校非常勤講師。NHK 交響楽団 2nd ヴァイオリン次席奏者。

＜新座市民会館＞

新座市野火止 1-1-2 ☎ 048-481-1111

- 東武東上線利用の場合
志木駅下車（西武バス）ひばりヶ丘駅北口行き
新座市役所前下車
朝霞台駅下車（西武バス）東久留米駅行き
新座市役所前下車
 - 西武池袋線利用の場合
ひばりヶ丘駅下車（西武バス）志木駅南口行き
新座市役所前下車
- ※ 新座市役所前バス停から徒歩 4 分



～「社会福祉法人にいざ」・「社会福祉法人にいざ後援会（新座自援会）」～

「社会福祉法人にいざ」は、障がい有する方が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援するための事業を行っています。現在、精神障がい有する方に利用していただく施設を、新座市内に 3ヶ所設置運営しています。「社会福祉法人にいざ後援会」は、「社会福祉法人にいざ」を後援し、障がいをもつ人も、もたない人も誰もが安心して暮らせる社会づくりを目指して活動しています。